

「矢川地すべり巡検」のお知らせ

日本地質学会関東支部では昨年『地すべり試験ラボ見学』を実施しました。今回は地すべり現場を見学するということで、長野と群馬の県境付近の「矢川地すべり」の巡検を計画しました。矢川地すべりは、現在も動いているいわゆるキャップロック型の大規模地すべりで、地すべりの末端ではめったに見ることができない地すべり面を見学することができます。

主催：日本地質学会関東支部，共催：国土防災技術株式会社

後援：関東地質調査業協会

開催日時：2016年4月23日（土）

巡検場所：群馬県甘楽郡下仁田町大字西野牧字徳若山国有林内（矢川地すべり地域）

募集期間：3月23日(水)まで（国有林のため入山許可取得のため）定員次第締め切り。

集合：午前8時00分（小雨決行）、JR大宮駅西口（そごうデパート前）、貸切バス使用。

現地巡検時間：11時30分～15時30分頃、CPD：4単位

解散：午後6時頃（集合場所にて）

募集人数：25～20人

参加費：6,000～7,000円（保険料金500円を含む、参加人員が20～25人を想定した場合の参加費）、現地参加者：1,500円（保険を含む）なお、現地参加者は現地に近い方とし、原則バスでの参加とします。

案内者：山崎勉・山崎孝成（国土防災技術株式会社）

用意するもの：昼食（車の中で食事）、調査道具、ヘルメット、長靴

申し込み先：関東支部幹事：方違重治（s.houchigai@tea.ocn.ne.jp）

携帯番号：080-8476-2986

申し込み時に住所、生年月日、緊急時の連絡のための携帯番号または固定電話、メールアドレス、会員・非会員を記入の上、メールの件名は「矢川巡検」として申し込み下さい。

なお、費用確定次第金額をご連絡しますので、次の口座に事前にお振込みください。

日本地質学会関東支部指定口座

ゆうちょ銀行0三九店（ゼロサンキュウ店）

口座番号 00330-9-4159（当座預金 0004159）

「見どころ」

矢川地すべりは、群馬県と長野県の県境の上信越自動車道の「八風山トンネル」の南側1kmに位置する現在も動いている大規模地すべりである。堆積岩に載った層厚100mに達する厚い安山岩類が滑る、いわゆるキャップロック型の地すべりである。すべり面となっているのは湖沼堆積物で、直線的で椅子形の形状をなし、傾斜4°と極めて緩い面を岩盤が滑っていく極めて興味深い現象である。このため、最大比高差50m以上の垂直の岩盤からなる滑落崖が地すべりを取り囲み、滑落崖に沿っては陥没帯と呼ばれる地溝が連続する。地すべり地内は非常に緩傾斜で安山岩の大規模岩塊がいたるところに流れ山を作っていて、極めて対象的な景観を作っている。末端部の急崖には、めったに見ることができない地すべりのすべり面が露出する。地すべりのすべり面は非構造性の断層であるが、構造性の断層と同様に極めて薄く、鏡肌や条線の様子が観察できる。このすべり面に沿う地中の動きはボーリング孔内での観測によって確認しており、雨が降ると変動する状況が連続的に捉えられている。矢川地すべりは、地形解体における地すべりの果たす役割、非構造性の断層、地すべりの特徴的な滑動機構、特異な地すべり地形など、非常に見どころが多い。なお、現地は国土防災技術株式会社が平成25年度から調査を行っています。